

麻しん患者発生時の対応について

1 麻しんと診断した時は保健所への発生届の提出と、電話連絡をお願いします。

- 以下の臨床症状を3つ満たす(臨床診断)時は発生届をしてください
ア 麻しんに特徴的な発疹 イ 発熱 ウ 咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状
(首・体幹から始まり四肢に広がる 別添資料参照)
※1つ以上を満たし修飾麻しんと診断した場合は、抗体検査やPCR検査等が必要になります。
- 患者情報の確認
 - ・年齢や性別
 - ・症状経過
 - ・海外渡航歴や流行地域への渡航
 - ・感染源となった人、接触者
 - ・予防接種歴(回数・時期・ワクチンの種類)

連絡先: 尼崎市保健所 感染症対策担当 (平日 9:00~17:00)

TEL:06-4869-3062 FAX:06-4869-3049

市役所夜間専用番号(平日 17:00~/土日祝日 終日)

TEL:06-6489-6900(担当者から折り返し連絡します。発生届は保健所へ送付してください)

2 鑑別診断のための IgM 等抗体検査は医療機関で実施してください。

3 血液(全血)、咽頭ぬぐい液、尿の3点の検体を採取・提出してください。

日程調整の上、職員が回収に伺います。

4 麻しんの感染力の強さに鑑みた院内感染予防対策・指導をお願いします。

- ・ 患者は個室対応をお願いします。
- ・ 医療機関においては、職員の「抗体価に基づく麻しんの罹患歴」及び、「記録に基づく麻しん含有ワクチンの接種歴」をご確認の上、対応者を選定してください。
- ・ 患者が自宅に帰宅される場合は、麻しんの感染力の強さを踏まえた指導を行ってください。
(感染可能期間(発症1日前~解熱後3日)の外出自粛等)

5 患者に保健所へ発生届を提出する旨と保健所から積極的疫学調査の連絡がある旨、お伝えください。

6 RT-PCR 検査の結果は、わかり次第、医療機関にご連絡します。

臨床症状と検査結果を総合的に勘案し、診断をお願いします。患者への結果は医療機関からお願いします。

総合的状況を踏まえ、麻しんでないと判断された場合は、発生届の取下げをお願いいたします。

検体の採取方法

検体	採取方法
血液(全血)	採血量: 2ml 以上 ※抗凝固剤として EDTA またはクエン酸ナトリウムを用いてください。(ヘパリン不可)
咽頭ぬぐい液	滅菌綿棒で採取し、滅菌スピッツもしくはウイルス検査用スピッツに入れ、綿棒を適当な長さに切断してふたを締めてください。 ※鼻咽頭ぬぐい液用の綿棒で代用可能 細菌検査用(細菌用培地入り)のスピッツには入れないでください。
尿	滅菌容器に入れてください。

※保健所職員が検体回収に伺うまでは、冷蔵(4℃)にて保管してください。(冷凍は不可)